

第3章 日本語学校調査の結果

1. 機関の概要について

(1) 機関の概要

問1 貴機関の概要についてお答えください。

◇ 設立時期

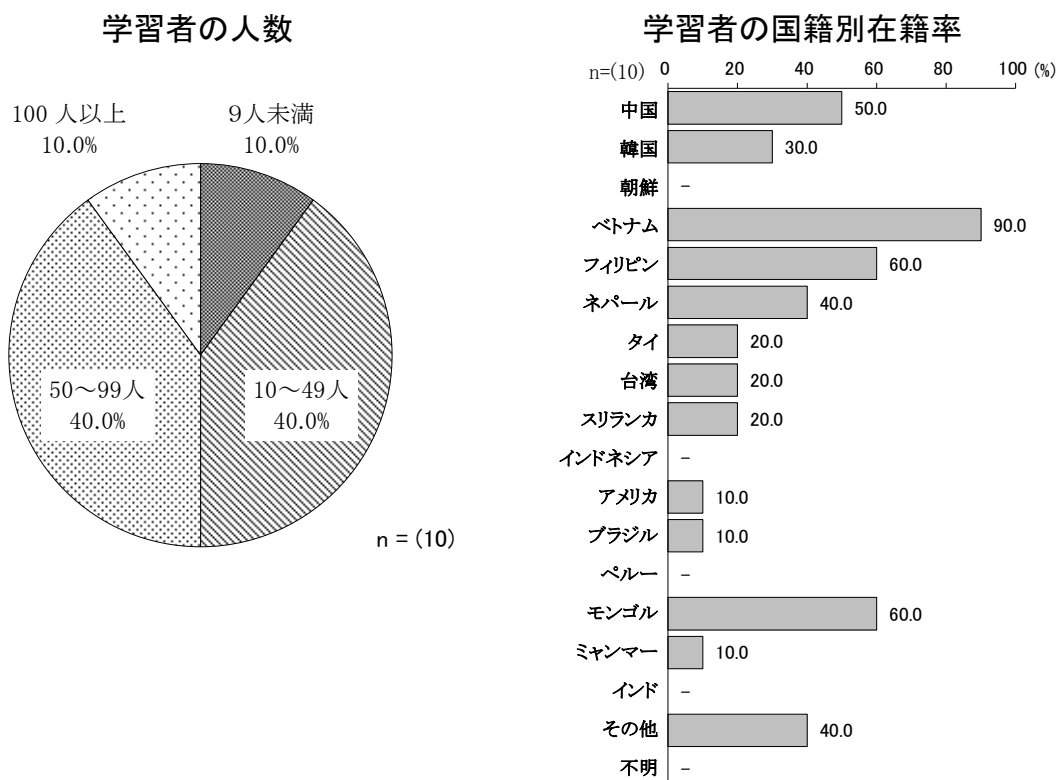
設立時期は、西暦でみると「2000年以前」が2件、「2001～2010年」が2件、「2011年以降」が6件となっている。

◇ 学習者の国籍別・在留資格別人数【全講座合計】※2020年3月31日現在

学習者の人数は、「10～49人」と「50～99人」がともに40.0%（4件）と多くなっている。

国籍別の在籍率は、「ベトナム」が90.0%（9件）と割合が最も高く、国籍別の人数は「ベトナム」が311人と一番多く、次いで「中国」が212人となっている。

在留資格別の人数は、「留学」が671人と一番多い。



学習者の国籍別人数・総数

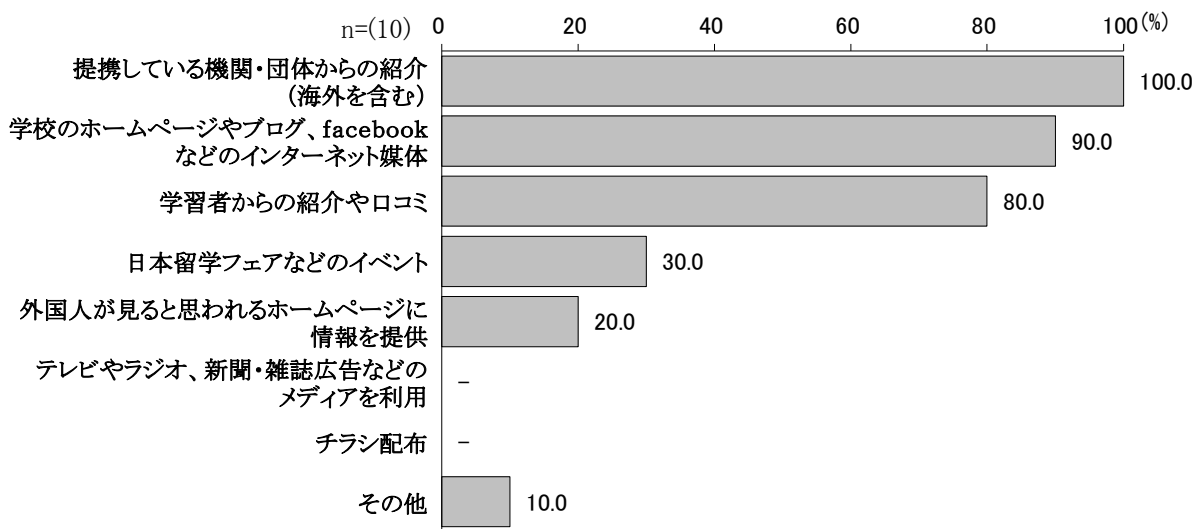
国籍	中国	韓国	朝鮮	ベトナム	フィリピン	ネパール	
学習者数(人)	212	60	0	311	31	13	
国籍	タイ	台湾	スリランカ	インドネシア	アメリカ	ブラジル	
学習者数(人)	12	14	10	0	1	1	
国籍	ペルー	モンゴル	ミャンマー	インド	その他	不明	総計
学習者数(人)	0	45	1	0	22	0	733

学習者の在留資格別人数・総数

在留資格	留学	技能実習	永住者	定住者	その他	総計
学習者数(人)	671	0	2	11	49	733

(2) 学習者の募集方法

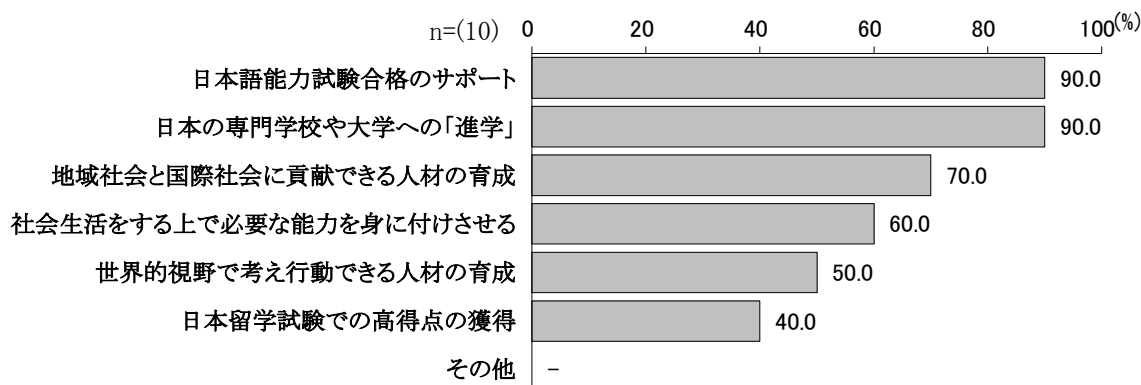
問2 学習者の募集方法を教えてください。【あてはまるものすべてに○】



学習者の募集方法は、「提携している機関・団体からの紹介（海外を含む）」が100.0%（10件）で最も多く、以下、「学校のホームページやブログ、facebookなどのインターネット媒体」（90.0%（9件））、「学習者からの紹介や口コミ」（80.0%（8件））、「日本留学フェアなどのイベント」（30.0%（3件））となっている。

(3) 機関が掲げる日本語教育の目的（理念・方針）

問3 貴機関が掲げる日本語教育の目的（理念・方針）について教えてください。【あてはまるものすべてに○】



機関が掲げる日本語教育の目的（理念・方針）は、「日本語能力試験合格のサポート」と「日本の専門学校や大学への「進学」」がともに90.0%（9件）で多く、以下、「地域社会と国際社会に貢献できる人材の育成」（70.0%（7件））、「社会生活をする上で必要な能力を身に付けさせる」（60.0%（6件））、「世界的視野で考え行動できる人材の育成」（50.0%（5件））となっている。

(4) 機関の特色（強み）（自由記述）

問4 貴機関の特色（強み）を教えてください。

機関の特色（強み）は、下記のとおりとなっている。

機関の特色（強み）
定員数120名の小規模校ではあるが、他の日本語学校に比べ、専任教職員の人数が多い点。それを活かすため、生活指導が教育の基礎であることを常に意識し、手厚い指導を一丸となっていて行っている。
学生一人一人に担当者が決まっており、入学から卒業まで、担当者が生活面や進学についてサポートする。
進学、就職、文化体験等、学習目的に合わせた勉強ができるように複数のコースがある。
<ul style="list-style-type: none"> ・自律型学習 ・学習者に応じた柔軟なカリキュラム策定
<ul style="list-style-type: none"> ・充実したサポート体制 ・快適な学習環境 ・様々な学校行事
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命だけは平等だ」の理念 2. 実用的な日本語学習教育の実践 3. 日本の生活習慣及び商慣習の理解促進 4. 経営関係グループ内に介護施設を運営している
<ul style="list-style-type: none"> ・校内に日本人学生がおり、交流ができる ・観光系専門課程への内部進学が可能である
先生がやさしくて、教育に熱心。
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康な体を持ち（Health）、社会に役立つ知識を備え（Head）、愛する心を持った（Heart）、バランスのとれた人材育成を目指しています。 2. オーディオリングル教授法を取り入れており、たくさん発話させることで学生の日本語力を更に上達させることができます。 3. きめ細かい個人別の進路指導が受けられます。
<ul style="list-style-type: none"> ・アットホームな雰囲気、先生と生徒の距離が近い ・丁寧な個別進学指導・就職指導

(5) 現在の「外国人への日本語教育」への課題（自由記述）

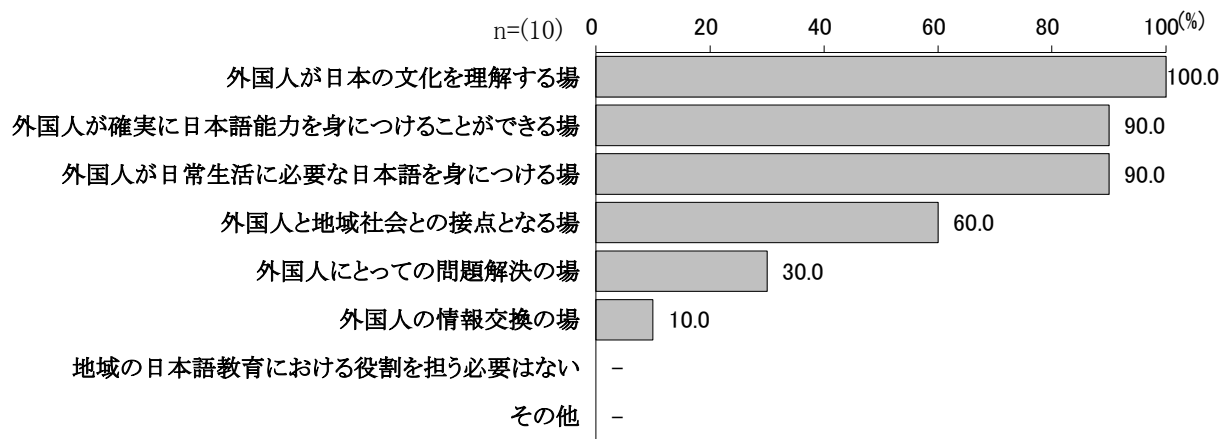
問5 貴機関では、現在の「外国人への日本語教育（特に成人向け）」にはどのような課題があると認識されていますか。

現在の「外国人への日本語教育」への課題は、下記のとおりとなっている。

現在の「外国人への日本語教育」への課題
漢字教育など学習することが多く、短期間で日本語能力を身につけさせることが難しい（2件）
留学以外の目的で日本に滞在している外国人への日本語教育に対応することが難しい（2件）
教室で教えることと、実生活のギャップ
細かなレベル分けと、そのレベル別の指導法
留学目的が多様化している。特定技能取得希望、就職。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、海外における学生募集活動の制約がある。
<ol style="list-style-type: none"> 1. 深夜のアルバイトを始めると勉強が身に入らず、学力の差が歴然としている。 2. アルバイト先が率先して、留学生にオーバーワークをさせたり、マイナンバーを確認しない、手渡しで給料を渡すなどして、学力や出席率にも悪影響がある。 3. 同じ国同士で固まり、日本語を話さず、日本語力が上がらない。 4. 勉学（専門学校や大学の受験料、学費など）に対して、お金を浪費する傾向がある。

(6) 日本語教育機関が地域の日本語教育において果たす役割

問6 日本語教育機関（大学、日本語学校等）が地域の日本語教育において果たす役割にはどのようなものがあるとお考えですか。【あてはまるものすべてに○】



日本語教育機関が地域の日本語教育において果たす役割は、「外国人が日本の文化を理解する場」が100.0%（10件）で最も多く、以下、「外国人が確実に日本語能力を身につけることができる場」と「外国人が日常生活に必要な日本語を身につける場」（ともに90.0%（9件））、「外国人と地域社会との接点となる場」（60.0%（6件））となっている。

2. 実施体制と日本語教師のスキルアップ等について

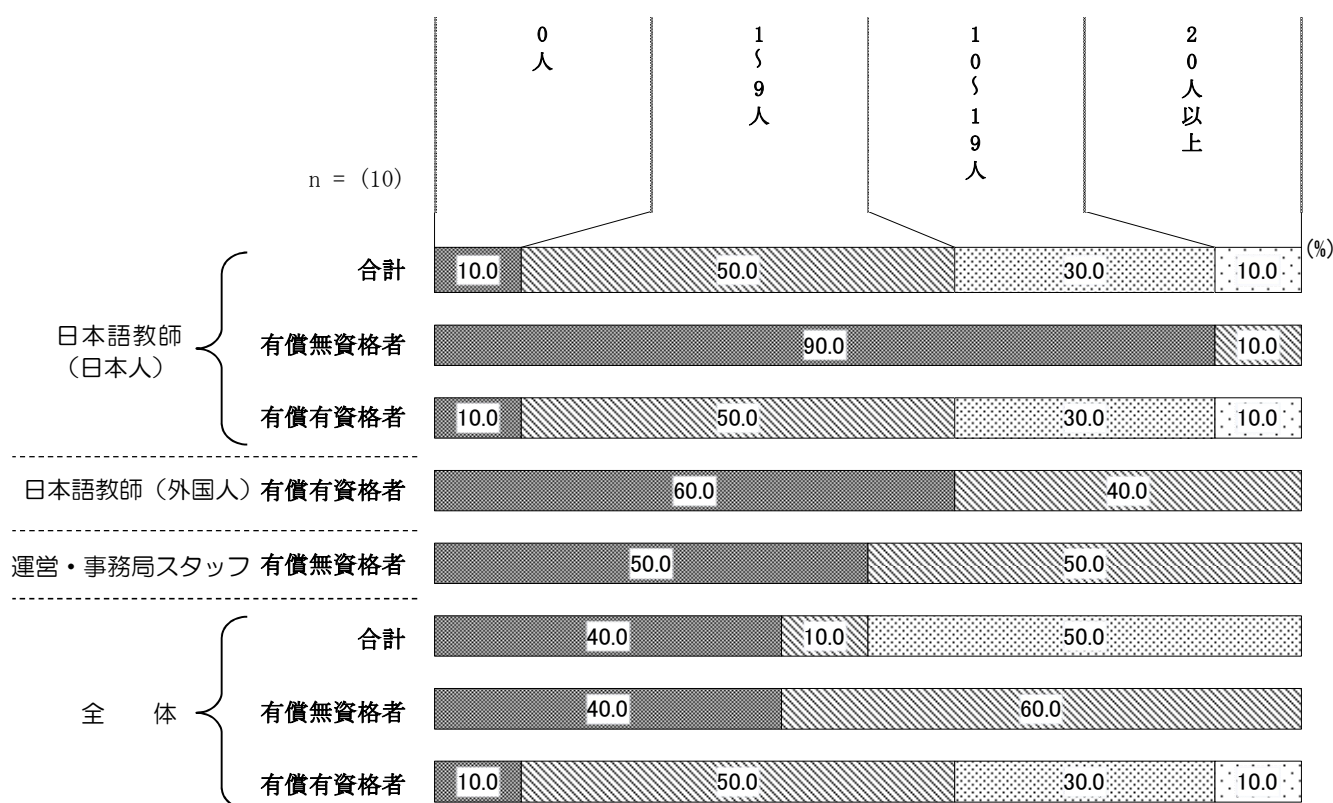
(1) 日本語教師、運営・事務スタッフの人数

問7 貴機関で活動されている日本語教師、運営・事務スタッフの人数を教えてください。

※2019年9月1日時点【数字を記入】

◇「有資格者」とは、

1. 大学で日本語教育を主専攻または副専攻して修了した人
2. 日本語教育能力検定試験に合格した人
3. 日本語教師養成講座420時間を修了した人



※無償無資格者と無償有資格者のスタッフ該当なし。日本語教師（外国人）は有償有資格者、運営・事務局スタッフは有償無資格者のみ。

日本語教師、運営・事務スタッフの人数は、日本語教師（日本人）の合計では、「1～9人」が50.0%（5件）となっている。

日本語教師（外国人）の有償有資格者では、「1～9人」が40.0%（4件）となっている。

運営・事務局スタッフの有償無資格者では、「1～9人」が50.0%（5件）となっている。

また、人数の全体（日本語教師、運営・事務スタッフ）の合計（有償無資格者・有償有資格者）では、「10～19人」が50.0%（5件）となっている。

(2) 日本語教師のスキルアップのために行っていること (自由記述)

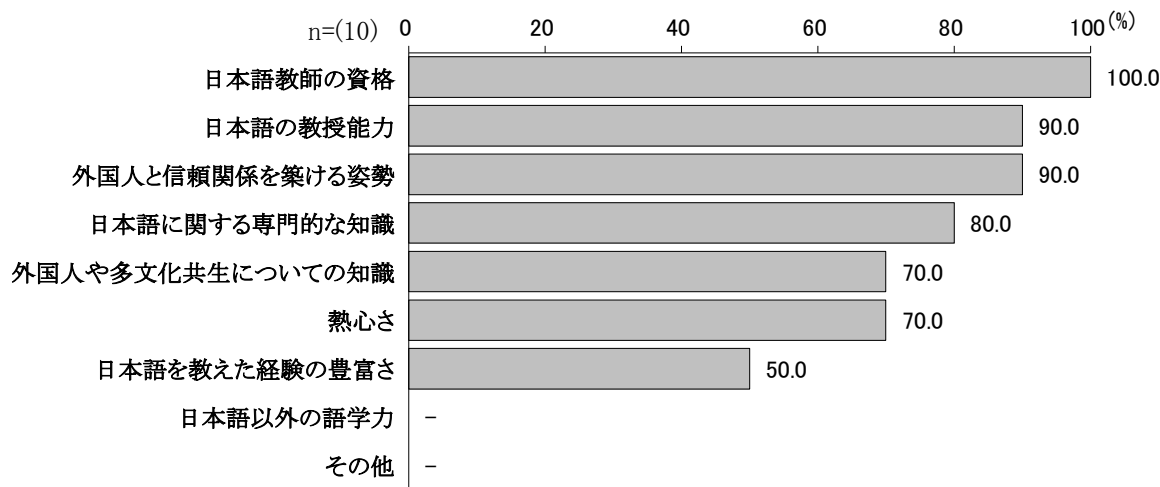
問8 日本語教師のスキルアップのために、貴機関として行っていることがあれば教えてください。

日本語教師のスキルアップのために行っていることは、下記のとおりとなっている。

日本語教師のスキルアップのために行っていること
他機関による研修会への参加 (5件)
学内研修・勉強会 (3件)
教材チェック (2件)
時代に合わせた教材のデジタル化
一年に一度、講師会を行い、問題点等話し合う
分科会

(3) 日本語教師に求める能力や姿勢

問9 日本語教師に求める能力や姿勢などについて教えてください。
【あてはまるものすべてに○】

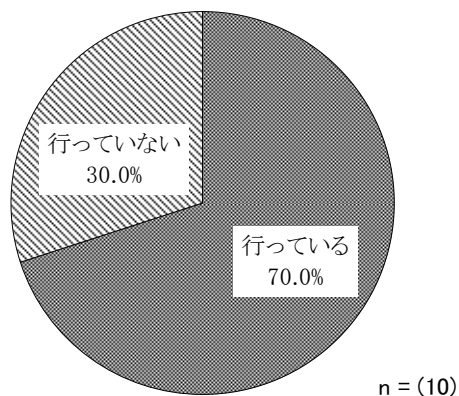


日本語教師に求める能力や姿勢は、「日本語教師の資格」が100.0% (10件) で最も多く、以下、「日本語の教授能力」と「外国人と信頼関係を築ける姿勢」(ともに90.0% (9件))、「日本語に関する専門的な知識」(80.0% (8件)) となっている。

3. 他団体との連携や今後について

(1) 他の団体との連携や交流有無

問10 日本語教育に関して、他の団体（県、市、企業、大学、NPO、日本語教室等）との連携や交流を行っていますか。【〇は1つ】



他の団体との連携や交流有無は、「行っている」が70.0%（7件）、「行っていない」が30.0%（3件）となっている。

【連携や交流を行っている】

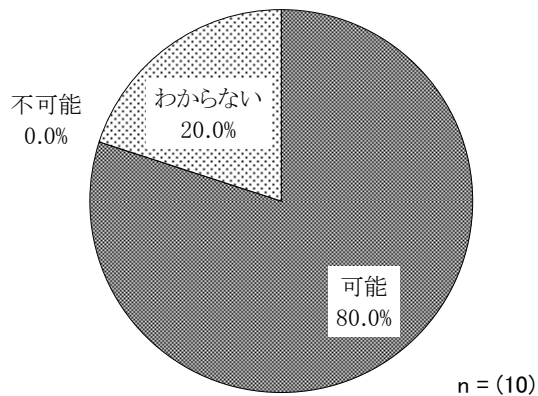
交流内容
進学説明会、進学に関する情報交換
千葉県介護留学生受入プログラム
外国人就労者・実習生への日本語教育
学生募集等
高校生（日本人）との交流
千葉市立小学校と文化交流／介護体験

【連携や交流を行っていない】

行っていない理由
日本語学校千葉県連絡会に参加していたが、今はなくなったため。

(2) 地域の日本語教室等との連携や交流、協力への対応

問11 今後、地域の日本語教室等、他団体から連携や交流、もしくは何らかの協力の依頼があった場合、応じることは可能ですか。【〇は1つ】

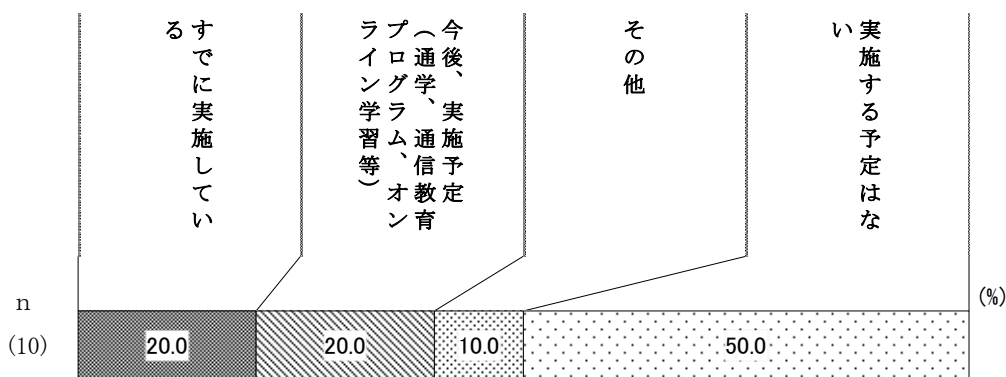


地域の日本語教室等との連携や交流、協力への対応は、「可能」が80.0%（8件）、「わからない」が20.0%（2件）となっている。

(3) 生活者向けコースを用意する予定の有無

問12 今後、生活者向けコース※を用意する予定はありますか。【〇は1つ】

※日本国内に定住している外国人住民を対象とした、日常生活を営む上で必要となる日本語等の習得を目的とした週2・3回のコース

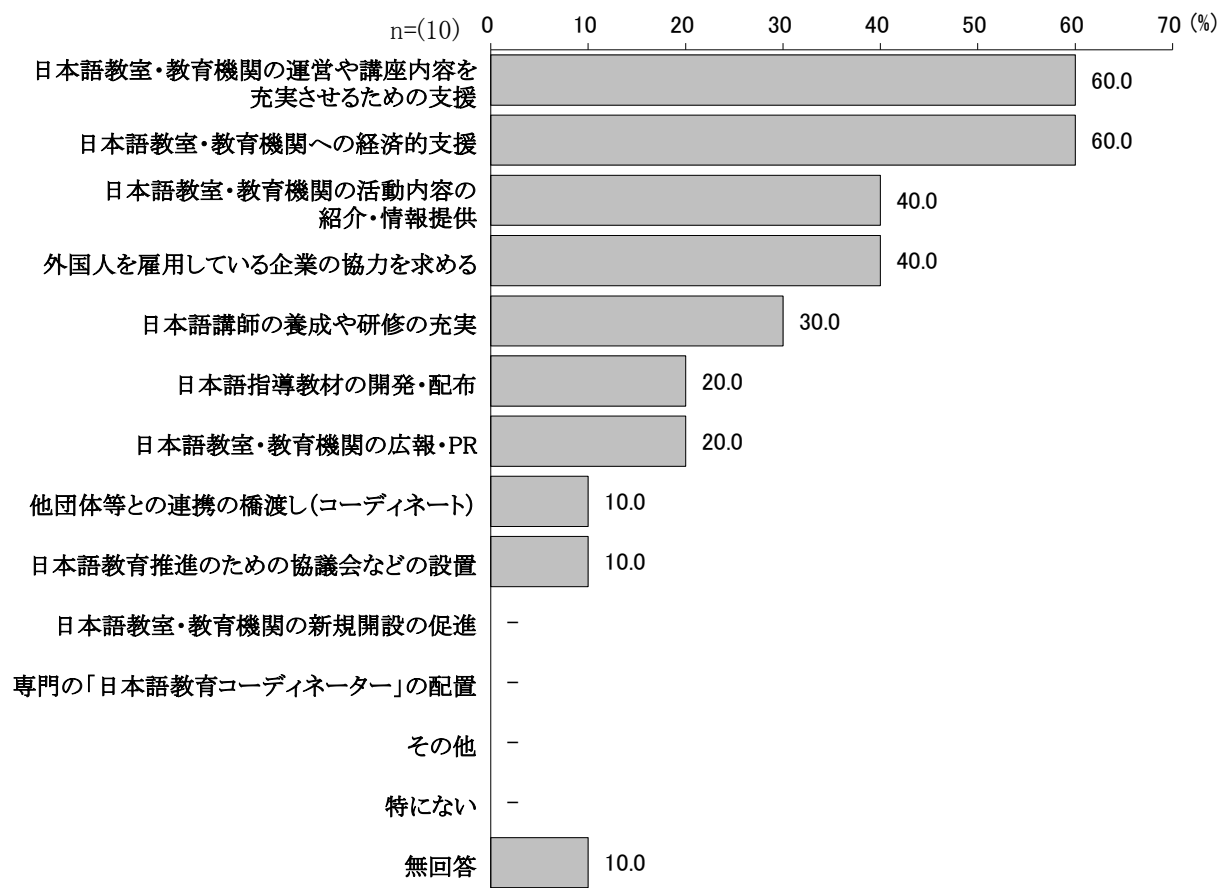


生活者向けコースを用意する予定の有無は、「実施する予定はない」が50.0%（5件）で最も多く、以下、「すでに実施している」と「今後、実施予定（通学、通信教育プログラム、オンライン学習等）」（ともに20.0%（2件））、「その他」（10.0%（1件））となっている。

4. 千葉市に期待することや市の地域日本語教育推進計画への期待について

(1) 日本語教育について、市に期待する施策

問13 今後、千葉市内の日本語教育について、市にどのような施策を期待しますか。
【あてはまるものすべてに○】



日本語教育について、市に期待する施策は、「日本語教室・教育機関の運営や講座内容を充実させるための支援」と「日本語教室・教育機関への経済的支援」がともに60.0%（6件）で多く、以下、「日本語教室・教育機関の活動内容の紹介・情報提供」と「外国人を雇用している企業の協力を求める」（ともに40.0%（4件））、「日本語講師の養成や研修の充実」（30.0%（3件））となっている。

(2) 日本語教育コーディネーターに期待すること (自由記述)

【問13-1は、問13で「他団体等との連携の橋渡し（コーディネート）」「専門の「日本語教育コーディネーター」の配置」に○をつけた方にお聞きします。】
 問13-1 日本語教育コーディネーターに期待することは何ですか。

日本語教育コーディネーターに期待することは、下記のとおりとなっている。

日本語教育コーディネーターに期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・留学生と日本人との交流の場を作る ・多文化交流の場を作る

(3) 千葉市における地域日本語教育推進計画の策定に期待すること (自由記述)

問14 千葉市における地域日本語教育推進計画の策定に期待することがあればお書きください。

千葉市における地域日本語教育推進計画の策定に期待することは、下記のとおりとなっている。

千葉市における地域日本語教育推進計画の策定に期待すること
日本語教育≠国語教育なので、是非とも既存の日本語学習機関をご活用願いたいです。
地域の人や小・中学校等の方々との交流や協力し合いながら活動できる場
留学生支援施策等のイベントを企画して頂きたいです。
留学生や授業時数の減った非常勤講師を支援するための各種給付金（学生支援緊急給付金や休業支援金・給付金等）はあるが、学校本体には持続化給付金と千葉県中小企業再建支援金の計220万円しかなく、経営が苦しいです。支援をお願いいたします。